# ご家庭に眠っている食品はありませんか？

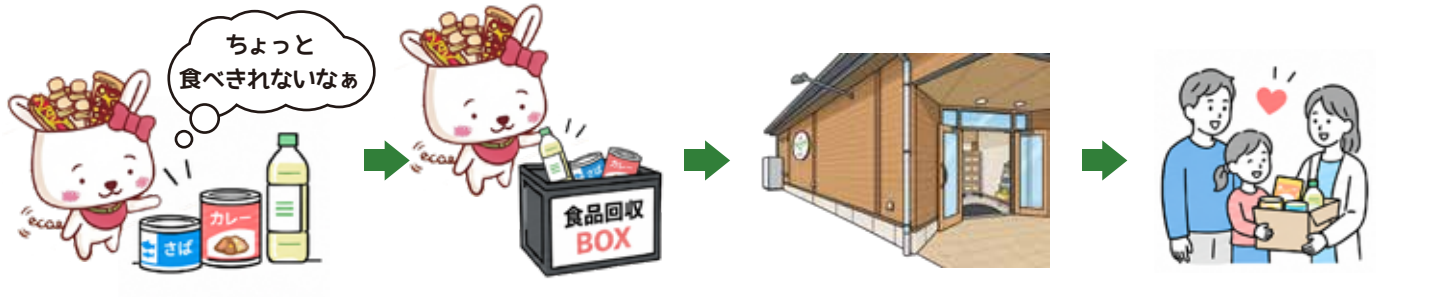


## ～フードドライブで、まだ食べられる食品を必要な方へ～

## フードドライブとは？

家庭で余った未利用の食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体やフードバンクなどに寄付する取組みです。
食べきれない食品を有効活用することで、食品ロスの削減につながります。

家庭で余った食品 → フードドライブに参加 → フードバンクへ → 必要としている方へ




## 身近なところでフードドライブ

まちのお店でもフードドライブの取組みが広がっています。こちらのスーパーマーケットでは、店内に回収ボックスを常設し、お客様に寄付いただいた食品をフードバンクに届ける活動を行っています。



回収BOXは1階レジの近くに設置されています。近くには、受付できるもの・できないものがわかりやすく表示されていました。



毎日のお買い物のついでに、いつでも寄付ができるようになっています。



集まった食品は日付や状態を確認した上で箱詰めし、フードバンクへ届けられます。

### お店の方から

「単に商品を販売するだけでなく、様々な形で地域の役に立つスーパーマーケットでありたい」という思いで、フードドライブ活動の立ち上げに携わりました。
地域の皆様が日常的に利用するお店だからこそ、誰でも気軽に参加できる活動となっています。
遠方から食品を持参される方も見受けられ、フードドライブを通して「寄付ができる店」として地域に認知され、支援の輪が広がっていることを実感しています。

# フードバンクでは何をしているの？

企業や家庭で余った食品を集め、必要としている人や団体などへ無償で届ける活動をしています。

## フードバンクちばさんにお伺いしました

ボランティアの高校生がお手伝いに来ていました

受け取る方の喜ぶ姿を思い浮かべながら箱詰めしています

### ①仕分ける

届けられた食品は種類ごと・期限ごとに仕分けをして整理します。



**無駄なく活用できるように**

期限の近いものから優先して活用し、食品ロスを減らせるように工夫しています。

### ②箱詰め

支援機関からの要請に応じ、状況に合わせて食品を選択、箱詰めします。



**必要な食品を必要な人へ**

家族構成やそれぞれの調理環境、アレルギーの有無など、利用される方の状況に配慮しながら、食品を選んでお届けしています。

### ③届ける

今日明日の食事に困る方に対しては、要請を受けた翌日には届けられるように手配しています。



**活用先はさまざまです**

フードドライブで集まった食品は、個人の方への支援のほかに、子ども食堂などの支援団体にもお届けし、大変喜ばれています。

## フードバンクちばは・・・



●2012年活動開始。数名の有償スタッフのほか、年間のべ900人の個人や企業のボランティアの方々に支えられて運営しています。

●県内のフードバンクの中核的な役割を担っており、集まった食品を各地域へ配分する拠点ともなっています。

## スタッフさんから

フードバンクは食品の受入れも提供もすべて無償で行っている活動であり、たくさんの人々の助け合いの気持ちで成り立っています。

日々の生活の中で、大切な食べ物が余って捨てられないように、食べ物に困っている人がいなくなるように、これからも活動を続けていきたいと思っています。

ご支援ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

## フードドライブで提供いただきたい食品

① 常温で保存できるもの

② 未開封のもの

③ 賞味期限が2ヵ月以上あるもの

### 寄付いただきたい食品

- 主食になるもの（乾麺・パックご飯等）
- レトルト・インスタント食品
- 保存食品（缶詰・瓶詰）
- 乾物（のり・豆など）
- お菓子類
- ベビーフード
- 飲料（ジュース・お茶等）
- 調味料、食用油
- その他ギフトパック、災害備蓄食品など

### 受付ができない食品

- 賞味期限の記載がないもの、2か月を切っているもの
- 開封されているもの、破損で中身が出ているもの
- 生鮮食品
- 冷凍・冷蔵品
- 医薬関連食品
- アルコール類（みりん、料理酒はOK）
- ペットフード
- 常温で保存できないもの

※実施場所によって受付条件が異なる場合があります。持参前に実施情報をご確認ください。



お家で食べきれない食品はフードドライブへ。
お近くの実施場所はこちらから

【お問い合わせ先】
千葉県環境生活部循環型社会推進課
電話:043−223−4144
E-mail：e-haiki@mz.pref.chiba.lg.jp